

3 4つの基本目標と導入機能施設展開イメージ

道の駅の基本3機能も踏まえ、4つの基本目標の達成に向けた取組として、導入機能展開イメージを整理しますが、今後策定する基本計画において、市民や事業者との意見交換などにより機能の効果検証を行い、具体的な導入機能・施設を決定します。

表 7 導入機能展開イメージ

道の駅基本3機能	導入機能イメージ
休憩機能	駐車場、トイレ、シャワー室、授乳室、ミルク・おむつ販売 など
情報発信機能	道路交通・観光・ふるさと納税・緊急医療・災害情報発信 など
地域連携機能	行政サービスコーナー、コミュニティスペース など

この項目については基本構想で記載している一般的な例であるため、現在の記載内容にこだわらず新たな項目を追加することも可能です。第1回作業部会では、参加者の皆様から新「道の駅」をどのように使いたいかをお聞きすることによって、展開イメージの整理につなげたいと考えています。

基本目標 No.	基本目標	基本目標の展開イメージ	展開イメージの概要	導入機能のイメージ
1	<p>全ての市民が日常的に訪れ、交流できる拠点づくり ～市民をはじめ周辺地域の住民が日常的に訪れることができる場となり、全ての世代が交流を体感する～</p>	子育て世帯が親子で時間を過ごす屋内での子どもの遊び場づくりなど、家族が気軽に集える場を提供する。	小中高生が遊べる空間 就学前の子どもが遊べる空間	公園 など 全天候型遊具 など
		全ての世代が、健康運動、レクリエーション活動、イベントづくりやイベント参加ができる場を提供する。	イベント、アウトドアができる空間 市民の健康活動ができる空間	イベント広場、キャンプ など 公園、サークル活動室 など
		ペット連れの利用者が、滞在しやすい環境を提供する。	動物と人間が幸せに共生できる空間	ドッグラン など
		市内の地場店舗などと連携しながら、市民の日常の買い物や食事の場を提供する。	地域産品を食べることができる空間 地域産品の販売流通を展開できる空間	レストラン、地元店舗出店スペース、カフェ など 地域産品販売所、加工品店、地場店舗販売スペース など
2	<p>観光客を呼び込み、地域外からの消費・投資を促す拠点づくり ～地域資源をつなぎ、プロモーションすることで人やモノの流れを招き入れる～</p>	観光協会や周辺自治体等との連携により、広域的な観光情報等を把握できるコンテンツを集積し、四国の中心に位置する地理的な特長を生かし、四国全域のゲートウェイとしての役割を担う。	ゲートウェイとして四国をつなぐしかけ	周辺自治体や施設の観光窓口・コンシェルジュ、広域展開周遊バス など
		豊富な地域産品を素材にした創意工夫の食事や地元有名店の参画を促し、本市ならではの食の魅力を提供・発信する。	地域産品を食べることができる空間 (再掲)	レストラン、地元店舗出店スペース、カフェ など
		全国の道の駅、産直市場や有名ショップとの広域的な連携を継続的に図り、全国の有名産品提供やイベント交流などにより、集客の持続性を図る。	全国産品が集まる空間	全国道の駅、全国産直市場、全国有名店舗などの出店スペース など
		本市の観光特性を活かした五感を感じる様々な体験を提供する。	モノづくり体験ができる空間	諸産業や地場産品のモノづくり体験工房 など
		市内の既存道の駅、観光施設、地元商店街等との連携強化により、イベントや地域通貨などを活用し、市内全域の回遊性を向上する。	市内の回遊性の向上をはかるしかけ	市内イベントや観光拠点への周遊バス、地域通貨や割引などを活用した地場商店をつなぐ など
		アート・文化・歴史の魅力を発信し、市内に点在するアート作品との触れ合いや名所旧跡などを巡るツアーなどへの参加を促し、癒しのある時間を提供する。	市内の魅力に触れるしかけ	市内に点在するアート作品などを巡る周遊バス など
		周辺地域観光拠点を周遊するシャトルバス、空港リムジンバスや高速バスの地域交通の拠点機能を整備し、市民や利用者の移動手段を確保する。	長距離バス等の乗り換えができる空間	高速バス、リムジンバスの停留所 など
3	<p>「人」を育て、「しごと」をつくり、地域産業の活性化に貢献する拠点づくり ～多種多様な事業者が横断的に関わる場となり、新たな地域産品やサービスを生み出す～</p>	多種多様な地元の農畜水産物や地域産品などを紹介・販売する場を提供することで、地域経済拠点の形成につなげる。	地域産品の販売流通を展開できる空間 (再掲)	地域産品販売所、加工品店、地場店舗販売スペース など
		SNSやEC/通販の活用により、地元の地域産品などのブランド力強化による販売の促進を図り、地域経済の活性化を図る。	市内の魅力を発信する空間	イベント活動、地域産品、PB商品の発信やふるさと納税などのプロモーション など
		産学官連携による季節の新品、目玉商品やプライベートブランド商品を多種多様な業種により共同開発し、高付加価値商品を継続的に創出する。	アイデアを創出する空間	産学官連携による新商品開発室 (連携ラボ) など
		市内の産業振興や市民の自己実現にチャレンジできる、人材の育成に資する拠点とする。	人材育成ができる空間 諸産業の体験ができる空間	起業にチャレンジできる商業活動への参入環境づくり など 地域資源発展のため産業振興窓口の開設による諸産業の教育・就業体験工房 など
4	<p>災害時の安全・安心な拠点づくり ～多発する豪雨や南海トラフで発生する巨大地震等に備え、市民や訪れた利用者が安心して利用できる～</p>	防災対応型エネルギー供給システムの活用により、災害時にも通信、各種電源等を安定供給し、移動中の道路利用者、来場者や周辺地域の住民が安心して一時避難できる場とする。	災害時でも安全安心な空間	次世代エネルギー、非常用電源装置、蓄電池システム、移動用発電機、耐水性貯水槽、災害用トイレ など
		災害時に気象情報、通行規制の情報、被害情報、緊急避難経路や救急病院の連絡先など災害時特有の情報を提供する。	災害時における情報の共有・発信空間	災害情報の集約・発信システム など
		大規模災害時は、広域的な物資供給や復旧・復興支援活動の拠点となる施設として活用する。	広域的な物資供給拠点となる空間	ヘリポート、防災用備蓄、広域支援部隊の活動拠点 など